

## 【OIE 情報】 ブラジルにおける牛海綿状脳症（BSE）の発生について

ブラジルにおける牛海綿状脳症（BSE）の発生について、OIEへ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

なお、我が国は2012年12月8日におけるBSEの発生確認を受けて、直ちに同国産の牛肉製品等の輸入を停止しています。

出典：OIEウェブサイト（2014年5月2日付け）

[http://www.oie.int/wahis\\_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=15148](http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=15148)

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

### 【概要】

- ・発生数：1件（緊急報告）
- ・発生日：2014年3月19日
- ・OIEへの報告日：2014年5月2日
- ・臨床徴候なし

### 【発生状況】

- ・マツグロッソ州 ポルト・エスペリディアン

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	1,177	1	0	50	0
水牛	11	0	0	0	0

- ・当該牛は12歳の雌牛であり、と畜場での緊急と殺の際に検査された。
- ・当該牛はマツグロッソ州の放牧飼育の肉用牛農場で出生・育成。同居家畜は、牛1,177頭、水牛（原文：buffalo）11頭。

### 【疫学情報】

- ・感染源：不明または調査中
- ・当該牛は12歳の雌牛であり、輸送中に問題があり、と畜場到着時には起立不能となっていたため、緊急と殺に送られた\*。（※動物衛生課注：「臨床徴候なし」と報告されている。）
- ・ブラジルBSEサーベイランスの一環として、国立農業研究所（LANAGRO/PE）において免疫組織化学検査を実施したところ4月14日に陽性を確認。英国ウェイブリッジ研究所においても免疫組織化学検査を実施し5月1日に陽性を確認。なお、ウェイブリッジ研究所において実施中の定型・非定型の検査結果はペンディングとなっている。
- ・2000年以降の移動について追跡したところ、当該牛の出生コホートは、マツグロッソ州の3つの市の10農場に移動。
- ・疫学的調査により、49頭のコホート家畜が特定され、殺処分された（いずれも臨床徴候なし）。コホート家畜の神経組織を採取し、5月1日に国立農業研究所でBSE検査を実施し、いずれも陰性を確認。
- ・OIE陸生動物衛生規約に基づくすべての管理措置が既に実施された。
- ・当該牛に由来する食肉及びその他の製品はフードチェーンに入っておらず、人へのリスクはない。

【対応】

- ・ 隔離
  - ・ スクリーニング
  - ・ 部分淘汰
- ・ 発生に対応したワクチン接種は実施していない
  - ・ 患畜を治療対象としない

【診断】

- ・ 診断施設：国立農業研究所（LANAGRO/PE）（国立研究所）
  - ・ 診断方法：免疫組織化学：陽性（2014年4月14日）  
免疫組織化学：陰性（2014年5月1日）※
  - ・ 診断施設：英国ウェイブリッジ研究所（OIEリファレンスラボラトリー）
  - ・ 診断方法：免疫組織化学：陽性（2014年5月1日）
- （※動物衛生課注：疫学情報欄のコホート家畜の検査と、診断日及び施設が一致。）

【参考】 ブラジルにおけるBSEの発生状況

